

ほごしゃといっしょによみましょう

海上保安庁からのお願いです。

うみ 海でのおやくそく

- ① ^{おとな}大人からはなれず
大人といっしょにあそびましょう
- ② かんしいんさんのいる
かいすいよくじょうでおよぎましょう
- ③ さむくなったり、つかれたりしたら、
^{やす}休みましょう



海の事件・事故は

「118」番

海であそぶのは、とてもたのしいです。
でも、あぶないところもたくさんあります。
いっしょんで、おぼれたり、いのちをおとしたり
することもあります。
わらっておうちにかえられるように、おやくそくを
まもってください。



Water Safety Guide



海上保安庁ウォーターセーフティガイド

マリナーズの安全情報が掲載されています。



海上保安官

YouTube

のいろいろなしごと

北海道教育委員会

第一管区海上保安本部

かいすいよく ねが 海水浴でのお願い!

中学年向け

海上保安庁からの
お願いです。

① こども あそ 子供だけで遊ばない!

お父さんやお母さんなど、^{いっしょ}一緒にきた大人から
^{はな}離れず、一緒に遊ぶようにしましょうね。

② かいせつ 開設された海水浴場で遊ぼう!

^{かんしん}監視員さんのいる^{かんり}管理された「海水浴場」で遊みましょう。
遊びに行く前に家族とインターネットなどで^{しら}調べてね。

③ とど 足の届かないところで遊ぶなど、 ^{むり}無理な^{こうどう}行動はやめて!

^{きゅう}海は急に^{ふか}深くなっている^{ばしょ}場所があります。
^{すなはま}砂浜から^{はな}離れすぎているか^{かくにん}確認しながら遊みましょう。
^{いのち}ライフジャケットをきて命をまもりましょう。

④ つか さむ 疲れたり、寒くなったりしたら休んでね!

^{つか}疲れたら、おぼれやすくなります。
^{じゅんびうんどう}準備運動をして、^{きゅうけい}休憩しながら遊んでね。

海の事件・事故は

「118」番

Water Safety Guide



海上保安庁ウォーターセーフティガイド

マリナーの安全情報が掲載されています。



海上保安官 YouTube

のいろいろなしごと



北海道教育委員会
第一管区海上保安本部

海を安全に楽しむために

海の特徴を 知ろう!

波や風

一定ではなく変化します。突然の大きな波に飲み込まれ溺れることも。強い風はフロート遊具が転倒したり、遠くまで流されたりします。

離岸流

見た目では分からない沖に向かう強い流れがありあつという間に沖まで流されます。海岸と平行に泳ぐことで、抜け出せることもあります。



海底地形

海では海底が見えづらく急に深くなったり、石や岩等の存在で、溺れたり怪我をしたりする危険があります。マリンシューズ等の着用も効果的です。

危険生物

海にはクラゲやエイ等、毒を持つ生物もいます。「チクッ!」と刺されてパニックになることも。見かけたら、近寄らず絶対触らないで。

遊泳事故を 防ごう!



海の事件・事故は
「118」番

★開設された海水浴場で!

海浜事故のほとんどが海水浴場以外で起きています。監視員等のいる海水浴場を利用して!

★無理・無謀な行動はやめて!

体調不良時は海に入らないでください。海に入る際は準備運動も行ってください。ライフジャケットなどで命を守る備えを!

★悪天候で、海に行かない!

事前に天気予報で風や波をチェック! 白波が立っていないか確認してください。計画を変更する勇気も必要です。

★大人の人と一緒に海へ

海では思わぬ事件・事故が起こります。すぐに助けを呼べるようにして、きまりを守り安全に遊びましょう!



海上保安官
のいろいろなしごと
YouTube

マリンレジャーの
安全情報が掲載されています。

北海道教育委員会
第一管区海上保安本部



海で遊ぶときは お子様へ手の届く場所で！ 目を離さないで！

北海道では、過去5年に49名の方が遊泳中の事故に遭っており、その約半数が20歳未満です。

遊泳中の事故は、一瞬にして命を落とす危険があります。

海水浴など、水辺での活動は、子供から目を離さないことはもちろん、子供に危険が迫った時、すぐに助けられる場所で、安全に十分配慮してください。

遊泳中の事故のほとんどが海水浴場以外で発生しています。

事前に情報収集を行い、監視員やライフセーバーがいる開設された「海水浴場」を必ず利用してください。

●開設された海水浴場の利用

海水浴場以外では、水上オートバイ等との接触、監視・救助体制が整っていない等の危険があり、海水浴中の事故の9割以上を占めます。

事前に海水浴場の情報を調べてください。

●気象・海象等の事前の情報収集

風や波は想像以上の力があります。悪天候では予定を変更する勇気も必要です。

子供との大切な約束かもしれませんが、命には代えられません。

離岸流等、海特有の現象も知っておくことが大切です。

●お子様をそばで見守り、無謀な行動はさせない

溺れる時は一瞬、音もなく静かに沈みます。子供のピンチを見逃さず、笑顔で帰宅してください。準備運動、適度な休憩も大切です。

大人も子供も、ライフジャケット等で命を守ることが大切です。

●万が一に備えた連絡体制の確保

万が一に備え、スマホ用の防水パックを使用する等、連絡体制を確保してください。海での緊急通報は118番です。



マリレジャーの
安全情報が掲載されています。



海上保安官
のいろいろなしごと

北海道教育委員会

第一管区海上保安本部